

北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 4 号 (通巻 No.193)

2005 年 6 月 20 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋イカ類資源調査結果

調査期間 : 2005 年 6 月 8 ~ 17 日

調査海域 : 道東太平洋 (図 1)

調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

道東沖のスルメイカは, 前年より低密度で小型

1. 水温分布 (図 1)

調査海域の深度 50m の水温は 1~11 台でした。調査海域の北で 1~3 台と低く, 南で 6 台や 11 台と高い調査点がみられました。

2. 分布密度 (図 1, 2)

調査を行った 6 調査点の分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は, 0 ~ 0.72 で, 調査海域の東側の調査点で高くなっていました (図 1)。平均 CPUE は 0.12 で, 前年を下回りました (図 2)。

3. スルメイカの大きさ

スルメイカの外套長 (胴長) は, 12~16cm でした。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 14cm で, 前年 (17cm) より小型でした。

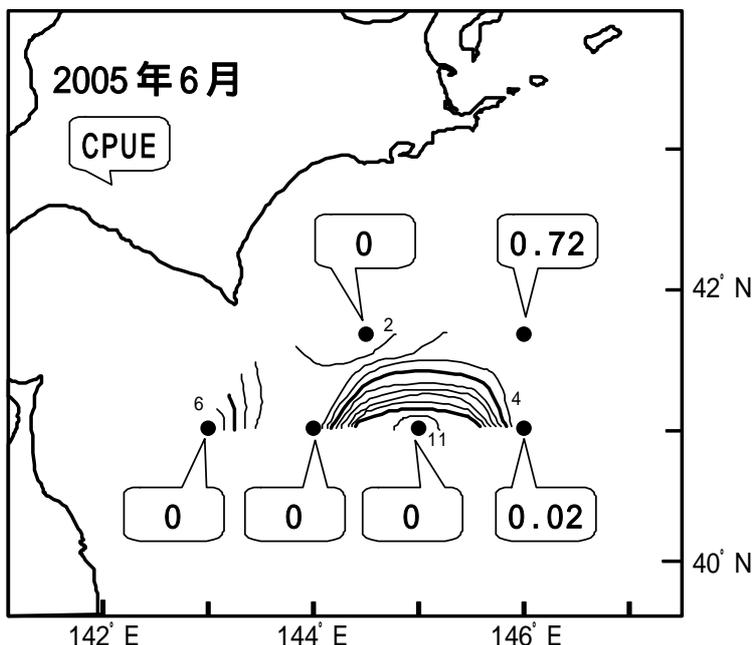
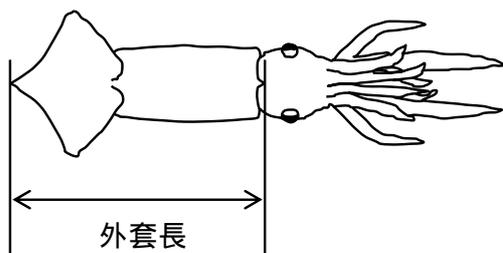


図 1 2005 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度 (CPUE) と 50m 深水温

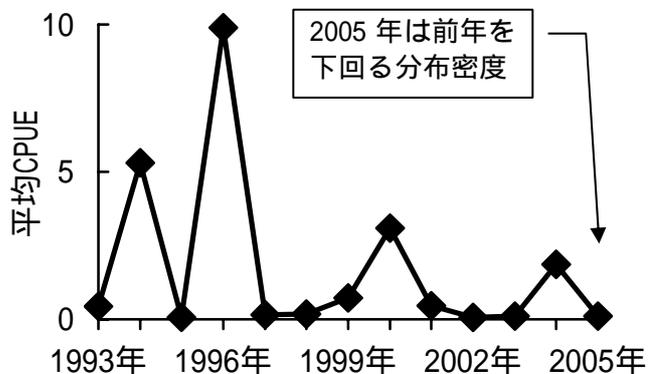


図 2 スルメイカの分布密度の経年変化

(文責 : 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)